

土壌の见えない能力 -荷電ゼロ点による土壌評価- Invisible ability of soil –Soil evaluation by zero point of charge-

*林 彩乃¹、*曾我 彩乃¹

*Ayano Hayashi¹, *Ayano Soga¹

1. 京都府立嵯峨野高等学校

1. Kyoto Prefectural Sagano High School

土壌は森林生態系の中心的な役割を果たしている。土壌は電荷を帯びており、それらの発現は有機物の末端基やpH等の状態によって大きく異なる。そこで、本研究では、嵯峨野高校校有林土壌の荷電ゼロ点（ZPC）を評価し、土壌中の栄養塩類の状態を推察することを目的とした。校有林は京都市の森林と市街地のバッファゾーンである里山地域に位置し、林齢70年程度の針広混交林である。調査実験の結果、土壌 $\text{pH}_{(\text{H}_2\text{O})}$ は3.7と低く、 $\text{pH}_{(\text{KCl})}$ はさらに1程度低いことが分かった。現在、STPT-ZPC法(Sakurai et al., 1988)を用いて、ZPCの測定を進めている。

キーワード：森林土壌、演習林、里山、荷電ゼロ点、pH

Keywords: Forest soil, Experiment forest, Satoyama, Zero Point of charge, pH